

Oh!PC6月号 オリジナルプログラムコンテスト 審査結果発表

今月はPC-8801や88VAの投稿もあって一安心。相変わらずPC-9801が多いが、内容的にもそれなりのレベルに安定している。なお、説明があまりに不親切な投稿があるが、入力例を示すなど、気を配ってほしい。また、大量のデータを扱うプログラムの場合は、サンプルデータのファイルも入れておいてもらえるとありがたい。

銀賞

兵庫県

ペンネーム“住正”

PC-9800 MS-DOS TURBO PASCAL

レイトレーシング

本誌'85年11月号掲載のBASICによるレイトレーシングプログラムをTURBO PASCALに移植したものが、図形要素の入力機能がマルチウインドー的にサポートされ、使いやすくなっている。計算速度もオリジナルから飛躍的に向上し、要素が少なければ1画面数分で描き終えてしまう。なかなか成功した移植だと思う。

銀賞

埼玉県

佐藤善宏

PC-8801 マシン語+BASIC

Y.S-DOS

PC-8800 シリーズ用の、いわゆる小型高速のゲームDOSである。同種のプログラムはけっこう多く、またかか感もあるが、ディレクトリの管理方法のアイデアや、ワイルドカードが使用できるなど、光るものがある。17歳の作品だが、全く大したものだ。

候補作

奈良県 横手光洋

PC-9800 MS-DOS TURBO C

詰め将棋

TURBO Cで作られた詰め将棋プログラムで、駒の配置を入力してやると、自動的に詰めの解を出して答えてくれる。こういった思考プログラムを作るのは大変だったと思うが、注文がある。何手詰めかの指定をなくすこと、打歩詰りを考慮すること、あまり駒が出ないようにすることだ。なお、次は詰め碁に挑戦したいと思うのだが、頑張ってもらいたい。

候補作

大阪府 橋本典夫

PC-88VA N88日本語BASIC V3

分子構造式エディタ

亀の甲羅マークでおなじみ(?)の分子構造式を画面上に入力し、きれいにプリントアウトできるプログラム。88VAのスプライトを利用したアイコンメニューは本格的だが、操作面と機能面の両方で完成度が低い。特に、一度描き込んだ構造図や文字の修正ができないようでは、エディタとは呼べない。基本的によいセンスが見られるので、さらに完成度を高めて再挑戦してほしい。

候補作

茨城県 高井徳男

PC-8801

セミグラフィックキャラクタ

PC-8800シリーズのテキスト画面のセミグラフィック機能を使い、160×100ドットの画面に大きなサイズで文字が表示できる。90度単位の文字の回転、上下左右反転、リバース表示の機能もある。タイトル表示やゲームのスコア表示などに利用できそう。次はグラフィック画面に漢字を任意のサイズで表示できるやつ(いわゆるSYMBOL命令)に挑戦してほしい。

候補作

神奈川県 広瀬健

PC-9800 MS-DOS BASIC

テスト監督管理

学校の中間、期末テストなどで、日程の決定と監督する先生の割りあてを決めるのは意外に面倒で時間がかかるものだという。それをパソコンで支援しようというプログラムである。現場の人間が作っただけあり、必要と思われる要素はすべて盛り込んであるようで感心した。データの入力や表示にちょっと分かりにくいところもあるが、特定の人間が使う限りは問題ないだろう。

候補作

千葉県 菅谷義行

PC-9800 MS-DOS BASIC

BASIC→FORTRAN コンバータ

N₈₈-BASICのプログラムをPC-FORTRANのソースに変換するプログラム。どんなプログラムでも変換できるわけではないが、意識してプログラムを書けば変換できる。始めからFORTRANで書けばよさそうな気がするが、インタプリタでデバッグしてFORTRANに落とすというのは便利かもしれないし、アイデアとして面白い。

候補作

広島県 柿原聖治

PC-9800 MS-DOS BASIC

2次元グラフ

1項目あたり2つの数値を持つデータをいくつか入力すると、それを視覚的なグラフにして画面に表示してくれる。ただそれだけのプログラムで、項目名の入力はBASICのスクリーンエディタ、ハードコピーはCOPYキー任せという簡単なもの。でも画面とリストはきれいにできている。実用的というより、BASICのサンプルプログラムとして意味がありそう。(敬称略)

編集後記

■今号より編集に加わることとなった、(O)です。以後、ヨロシクお願いします。

今月読んだ本で、高橋治氏の『絢爛たる影絵』が面白かったでした。内容は小津安二郎監督についてで、高橋氏はあの「東京物語」に助監督でついていたこともあり、評論や裏話本とは一線を画しています。表紙の原節子さんも美しく、小津作品のファンならぜひ一読ください。(O)

■スポーツニュースという、日本ではどうしてもプロ野球になってしまう。オフシーズンでさえプロ野球のニュースが主になるというのに、今はシーズン中、なおさらプロ野球。とはいっても私もプロ野球大好き。好きなチームが勝ったと聞けば仕事を早めにかたづけ家でスポーツニュースを見た

いと思い、負けたと聞けばスポーツニュースなんか見たくないと思っている人種です。(洋)

■先日、アメリカ人の女性語学教師と話していたのだが、助詞や副詞についてしつこいほど尋ねてくる。説明していると、改めて自分の知識のあいまいさに気付く。とにかく妥協と曖昧を許さぬ彼女の態度に、こちらはタジタジするばかり。店での勘定もしかり。実に厳格だ。あなな主義というものは、彼女の辞書にはない。国民性の違いについて考えさせられた一日でありました。(紳)

■「お題：遊佐未森」

このところよく聞くのが和製ポップス。中でも最近のお気に入りには遊佐未森である。なにせ声質が独特な上に唱法も変わっていて、一度聞いてしまうとイヤに耳に残

る。個人的にはセカンドよりもデビューの「瞳水晶」が好きだけど、どっちもクオリティは○なのでぜひ一家に一枚どぞ。とにかく、仕事に流しておくには最適のキャラクタなのだ。(MANZ)

■このあいだ湘南の海にラッコ見物にいきました。浜辺から海を眺めると、波のあるところは無数のラッコが群れています。種類も色々です。基本的な体色は黒ですが、ほとんどのラッコには赤や青のワンポイントが入っています。蛍光色が多いのが特色です。みんな、沖をみながらブカリブカリ波がくるのを待っています。ラッコは、これから7月の海開きまでが最盛期です。(KEN)

■英国サウサンプトン大学・フライシュマン教授と米国ユタ大学・ポンス博士が常温における核融合

に成功したとのこと。これが本当なら大変なことである。核融合によるエネルギーは核分裂の4倍以上、石油エネルギーの800万倍。放出するエネルギーのすごさもさることながら、核分裂と違い人体に悪影響を及ぼす放射性廃棄物が発生しないのだ。夢のような話だが事実であってほしいものだ。(芳)

■人間というものは贅沢なもので、ちょっと前には画期的に改善されたと驚喜していたことも忘れ、不満をいい始める。たとえばページプリンタ。あのときは速かった。なのに、いまこのスピードにたまらなくイライラ(コピーのように、さっさと排紙せんかい!)。いつの日にかハードディスクもいまのフロッピーのように「遅い」デバイスになってしまうんだらうな。(K)